

株式会社マネジメントセンター

茨城県水戸市住吉町 68-1

NEW108 202号室

Tel029-246-4671 Fax029-246-4672

編集責任者：松本幸雄

今月号のニュース

1. 「ISO取得企業の実態」

2. トピックス：資格「環境アセスメント士」

ISO取得企業の実態

ISOを取得した企業の 悲鳴が聞こえますか？

ここ最近、ISO取得企業が様々な点で行き詰まりを感じているとの話を聞く機会が増えています。

維持審査を行う現場で、またISOの認証取得後数年経過した建設業、更には“取引先の言いなり”にシステムを構築した製造業など、状況も直面している問題も様々です。

今回は『これじゃ“ISO”じゃなくて“SOS”だ!』と嘆いている管理責任者の方向けに、問題点の傾向と対策を検討してみました。



1. ISO9001 取得企業の場合

(1) ISO9001 問題点の傾向

経営者の関心が、認証取得だけに止まっている

- ・管理責任者が孤軍奮闘して、ISO関連の資料作成を一手に引き受けている
- ・実際の仕事上では、ISOのルールが適用されておらず、維持審査前などの準備にエネルギーを費やしている

取引先、親会社などに強制され、とりあえず取得した企業

- ・自社には必要のない帳票や、余分な規程類などを作成し、大企業並みの仕組みが出来てしまった

社員への浸透がうまく行かず、いつまでたってもISOの内容が充実されない

- ・内部監査員の意識が低く、毎回同じような監査内容のため、システムの改善や効果が見られない
- ・品質目標の設定内容が単調で、顧客満足度の向上よりも、「業務内容の非改革」が優先されている

(2) ISO9001 問題点の改善案

経営者をも巻き込む仕組みに挑戦する

- ・内部監査員を体験してもらい、実際の業務改善に役立つことを実感してもらう
- ・教育訓練などの講師を務めるなど、システムの一端を担ってもらう
- ・経営者以外の取締役など、経営層の参加を確実に内部コミュニケーションに盛り込む
- ・自社のシステムとしてISOを利用する
- ・取得時とは違うコンサルタント会社などを利用して、改善策を検討する
- ・100名以下の企業では、専属社員を置かず、如何にシステムを軽くするか検討する
- ・品質マニュアルや帳票は『自社に合わせて』簡素化することが必要
- ・幹部の成長が企業成長の近道
- ・内部監査を掘り下げて行うことで利益UPに直結する経営改善が可能です(業務の効率を上げるチャンス)
- ・品質目標の設定や、教育訓練計画などは、社員のレベルアップや、幹部育成の有効なツール(道具)として利用する

2. ISO14001 取得企業の場合

(1) ISO14001 問題点の傾向

取引先に、ISOを「取引条件」として突きつけられた企業の取り組み

- ・取引先の関心がある内容だけに集中してシ

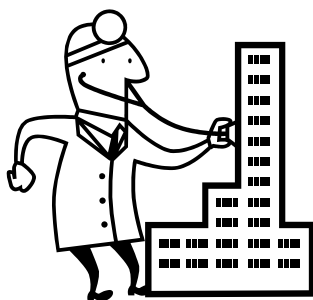
- システムを構築している
- ・実際の業務内容よりも、かなり絞って適用範囲を設定している
当初作成したシステムが、全く改善されずに運用している企業
- ・取得時に使用したコンサル会社から言われたとおりの内容で、その後も改善される傾向がない
- ・ISOの意図が理解されないまま、上辺だけの環境活動を行っている
環境目標・目的の設定項目に変化が乏しく、毎年の内容が単調になる
- ・「紙、ゴミ、電気」から離れられず、これ以上は削減できない域に達している
- ・敢えて「自社の改善すべき内容」を外して検討している

(2) ISO14001 問題点の改善案

- 「環境に取り組む = 社会への貢献」の意識
- ・今や環境に取り組んでいることは、取引上有利になることは必定です。**顧客拡大の武器として活用する**観点からの取り組みが求められます。
- 「環境マネジメントシステム」との意識
- ・ISO14001 は、経営に関する仕組み作りの一つとして、**企業の経営改善も行えます**
- ・「改善内容の実績」が、社内全体で確認できる機会を多くする(朝礼、社内報 など)
- 「有益な環境側面」の検討
 - ・削減する目的だけでなく、**拡大する目的(有益な環境側面など)に視点を変えて**検討する必要があります
- ・自社内だけでなく、顧客や外注先への影響を検討する
- ・認証取得後、ある程度の期間を経ると、環境目的・目標については、経営面や品質面さらに効率なども含めて検討することが効果的です。

いずれの場合も、経営者以下社員全体が「ISOが経営革新に繋がる」との意識を持つことが大事です。

今の取得企業は、**「環境管理責任者が退職した日から、**



ISOが滞ってしまった」などということの無い様に、企業全体として取り組む必要に迫られています。

トピックス

～環境アセスメントの資格

「環境アセスメント士」～

環境アセスメントとは

ある事業を実施するまえに、実施後の環境影響などを保全上の見地から調査し、それを資料としてまとめ報告する。これから大規模な工事がある仕事は必ず行なわれるとても大切な作業である。

以上のような場合に活躍するのが「環境アセスメント士」となるが、今回は初めて資格認定制度を(社)日本環境アセスメント協会が創設した。

部門は以下の2部門

生活環境部門

大気環境、水環境、土壌環境、廃棄物、温室効果ガス など

自然環境部門

植物、動物、生態系、景観、触れ合い活動の場 など

申し込み期間

2005年8月15日(月)から9月9日(金)

試験日

2005年12月11日(日)

詳細は社団法人日本環境アセスメント協会までお問い合わせ下さい。

<http://www.jeas.org/>

(株)マネジメントセンターへの、ご意見、ご質問をFAX又はメールでお寄せ下さい!

FAX : 029-246-4672

Mail : watanabe@isommc.com